

203号

環境のひろば

ふるさとを
きれいに
しましょう

発行者 / 岡山県環境衛生協会
会長 小山 亮

題字 / 岡山県知事 伊原木 隆太

この新聞は“ふるさとをきれいに
する運動”を推進するために
配布しております。



倉敷市環境衛生協議会児島地区協議会

マイバッグ使用率の向上を めざして店頭啓発活動

倉敷市環境衛生協議会では平成二十五年度も活動方針に従いマイバッグ使用促進の呼びかけを行っています。当協議会の「家庭ごみ減量化部会」が中心となって、倉敷市が決めた、岡山県統一ノーレジ袋デー店頭啓発活動実施計画日（市内のマイバッグ認定店の中から実施事業所を決め、毎月十日ごろに店頭啓発活動を予定）に店頭啓発活動を予定しております。

当協議会では使用率年5%アップを目標に活動しております。啓発ポスター、チラシの配布、のぼりやたすきでにぎわいをつけたりしています。また、イベントなどでは、子ども連れの方に特に呼びかけを行って家族ぐるみで考えて行動していただけるようお願いをしております。

店頭啓発にあわせマイバッグの使用率調査を毎年一回十月に複数事業所において行っております。事業所によって使用率に相当ばらつきがあります。

石油にすると、ドラム缶二百七十五万本分といわれるレジ袋の国内年間使用量。資源を大切にし、ごみ減量のためにわずかな生活習慣の切り替えでできる「ノーレジ袋」に対する理解を深めていただき、実行してくださるよう呼びかけを続けていきます。

ご協力をお願いします。



くらしき環境キャラクター
くらしふ

支部だより

岡山市支部

おかやま「リサイクル 工作コンクール」

岡山市環境衛生連合協議会

当協議会では小学生の夏休みの宿題を利用して、「おかやまりサイクル工作コンクール」を毎年開催しております。

これは、身の回りの不用品を利用した工作を通じて、子どもたちのものを大切にすることを新たにものを創り出す心を培い、環境を大切にすることを高めるために実施するもので、今年で十二回目を迎えます。

提出作品数は、平成二十二年度三・〇一件、平成二十三年度三・二四八件、平成二十四年度三・三七二件と年々増加しており、うれしい悲鳴を上げております。

本年度も優秀作品を選出し、十月二十六日(土)に岡山コンベンションセンターで開催される第八回「お

かやま・もったいない」晴れの国フォーラムに展示を予定しております。

昨年度のフォーラムの展示では、多くの子どもたちが家族連れで来られ、自分の作成した作品とともに記念撮影をされていました。

岡山市でも平成二十四年三月に改訂した一般廃棄物(ごみ)処理基本計画で環境教育の充実を基本方針の一つにあげており、当協議会でも引き続き継続していきたいと考えております。



第7回「おかやま・もったいない」晴れの国フォーラムでの展示の様子

東備支部

「レジ袋削減運動」 和気町の取り組み

和気町環境衛生指導員協議会

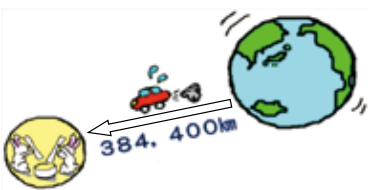
和気町では、地球温暖化防止や、より一層の「ごみの減量化」と「リサイクルの促進」に向けて、マイバッグ持参運動を通じたレジ袋の削減を進めるため、平成二十一年四月からレジ袋の無料配布中止を開始し、四年が経過しました。

事業者団体・消費者団体・行政の三者間で協定を結び、現在は十一事業所、十三店舗で実施しています。レジ袋の辞退率については、当初の目標八十%を大きく上回り、平均九十四%と高い水準で推移しています。

レジ袋削減の効果ですが、平成二十四年度においては、約百八十四万枚のレジ袋が削減され、約九十二トンの二酸化炭素(CO₂)の排出を抑えた計算になります。また収集可燃ごみは前年度と比較して約百トンの減量となりました。これはレジ袋有料化をきっかけに

環境に対する意識が高まり、ごみ全体の減量化につながったものと考えています。

また、レジ袋の収益の一部は岡山県緑化推進協会の「緑の募金」に寄付され、町内の緑化事業に充てられており、循環型社会の構築への取り組みも推進しています。



1年間の二酸化炭素排出抑制量、約92tは燃費10km/Lのガソリン車が月まで行った場合に排出する量に相当!

井笠支部
地域発信のごみの減量化!

矢掛町環境衛生協議会

ごみの削減や分別がもはや当たり前となった昨今ですが、実際の現場ではまだまだ徹底されていません。行政としても様々なアイデアによるごみの削減や分別の啓発をしておりますが、なかなか思うような成果は上がっていません。

そのような中で、矢掛町熊林田くまはいただ自治会では、地区独自でごみの削減や分別に取り組んでいます。

この自治会では、今年の三月から古紙や古布の回収をいつでもできる資源回収ステーションを設置したり、雑紙の回収を促進する工夫を行っています。資源回収ステーションの設置から半年が過ぎましたが、回収量は約二トン。この回収された資源の売却益は自治会活動費に使われ、地域住民に還元されています。

地元自治会が中心となり、積極的にごみの削減や分別に取り組む

ことで、行政だけでは手の届かなかった住民にも良い影響を与えられると思います。今後も矢掛町では地域住民と一体となって循環型社会の形成を目指します。



高梁支部

総会で「表彰式」「講演会」を開催

高梁市環境衛生協議会

高梁市環境衛生協議会では、八月一日に定例の総会を開催し、議事終了後、高梁市環境衛生協議会会長表彰の表彰式を行いました。

平成十年頃から毎月二回、備中川面駅周辺を清掃されている備中川面駅清掃奉仕グループ、そして、平成九年からクリーン活動や花

いっぱい運動で地域貢献している高梁市立川上中学校、約三十年前からごみ拾い、カーブミラー清掃や秋祭りイベントを開催している湯野コミュニティ活動推進協議会、個人では、平成十八年から成羽川河川敷を五月から十二月にかけて、毎日、美化活動をされている亀山智夫さんの、三団体一人に表彰状を授与しました。

表彰式の後には講演会を開催し、「環境問題をとらえる視点」と題して吉備国際大学の井勝久喜教授による講演がありました。環境問題は科学技術では解決できず、経済

は科学技術では解決できず、経済



的豊かさの追求による政治や社会の問題であるとともに、世代間における資源の取り合いでも

あると話されました。

『他の「いのち」に思いをはせる心』を大切にし、今住んでいる高梁市を好きになってくださいと締めくくられました。

なお、高梁市環境衛生協議会では今年度、市内各施設での巡回環境パネル展、環境フェア、廃棄物学習会、一斉クリーン作戦などを実施します。

津山支部

津山の花いっぱい運動

津山市環境衛生推進委員会

津山市では、連合町内会役員で組織する環境衛生推進委員会というのがあります。当委員会では美しい町づくりの一環として、町内会、老人会、子ども会等の団体で「花

～買い物にはマイバッグを持参して、レジ袋に秋休みをあげましょう～

11 月 は

レジ袋秋休みキャンペーン

(マイバッグ持参強化月間)

マイバッグ持参を習慣にして、レジ袋削減にご協力をお願いします。

県では、家庭ごみを少しでも減らすため、スーパーやドラッグストア、ホームセンターなどの店舗、消費者・環境団体や市町村と協力して、買い物の際にレジ袋をもらわない「マイバッグ持参」の呼びかけを行っています。
このキャンペーンを機会に、お買い物の際には、マイバッグを持参してレジ袋を受け取らないようにしましょう。



岡山県マスコット ももっち

いつぱいコンクール」に取り組んでいます。

第二十九回となる今年も多く、団体が花壇の部、道路沿道の部に応募し、出来具合を競いました。七月末、市の職員で予備審査を行い、その中で優秀と思われる十八団体を選び、八月五日、当委員会役員及び関係機関等で本審査を実施し、厳正な審査の結果、最優秀賞、各部門の優秀賞等を決定しました。九月三十日、宮地昭範津山市長

をお招きしての表彰式を予定しています。

当委員会では環境美化活動として、ごみの不法投棄、落書き防止、マイバッグ運動等々も市民一丸となって取り組んでいます。さらに町中を四季折々の花で飾り、心をも癒やしてもらいたいものです。



循環と共生

新見市環境衛生協議会

平成二十五年八月三十日（金）午前0時から「特別警報」の運用が開始されました。これまでの警報の発表基準をはるかに超える豪雨や大雪をもたらしてしまうほど、地球環境が大きく変化していることに危機感を覚え、それと同時に、環境問題に対する啓発の重要性も再認識しました。

六月八日、新見市で初めて『びっちゅう環境フェア』が開催されました。会場となった「まなび広場にいみ」には、親子連れが大勢訪れ、廃油を使ったキャンドル作りや、日本ミツバチの生態学習など、楽しみながら環境問題に触れました。
新見市環境衛生協議会では、子ども達へマ



イバッグとゴーヤの苗を配り、環境保全の啓発を行いました。これ以上自然を壊すことなく、「環境を守っていく」という意識」が広がるようお願いを込めたものです。
「使い捨て社会」から「循環型共生社会」へ。

自然からの警笛に、次代を担う子ども達とともに耳を傾け、限りある資源の循環と、自然環境との共生のバトンを幾世代にも繋げていくことが重要です。

環境豆知識

買物は自前袋をご持参で

広報・研修委員 藤原 浩

生活用品の買物に、レジ袋が広く普及して重宝され、気がつけば、大きな落とし穴がありました。身近な生活の中でみますと、レジ袋は岡山県下で、年間579万枚、約5千トンを使用しており、この焼却で二酸化炭素、約3万6千トンを空气中に排出していると推計されています。わずかな1枚が積みもって大きな環境破壊の要因を引き起こしているのです。

急速に進んだ地球温暖化の影響により、昨今の異常気象には日本は勿論、世界中が困惑しております。この環境汚染源の一因を阻止しようと県下で一番に立ち上がったのは、県南の和気町でした。まず環境指導員を中心に婦人会員などが店頭啓発に努め、自前袋持参運動を呼びかけたのに始まり、今ではレジ袋の辞退率100%近くの成果が得られています。

岡山県下でも、毎月10日を「岡山県統一ノーレジ袋デー（マイバッグ持参推進日）」と定め、多くのおみなさんの賛同、協力に大きな期待を寄せています。



●レジ袋は、生ごみ入れやゴミ箱の内袋などに使うのに便利だから…

レジ袋に代えて、商品を包装していたポリ袋・ビニール袋などを再利用してはどうでしょうか。

●いつもマイバッグを持ち歩くことはできないから…

できるだけ、マイバッグをカバンや自動車の中に入れておく、以前受け取ったレジ袋を（ハンカチのように）ポケットに入れておいてはどうでしょうか。

岡山県・岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議チラシから抜粋

お知らせ

平成25年4月から
岡山県環境衛生協会として
活動を開始しました!!

平成25年3月31日をもって社団法人岡山県環境衛生協会を解散し、4月1日から岡山県環境衛生協会として活動を開始しました。

活動内容や協会の構成等に変更はなく、これまでどおり地域に根ざした活動を続けてまいりますので、引き続き、環境美化活動やマイバッグ持参運動等に種々ご協力をいただきますようお願いいたします。

機関誌、協会に関する問い合わせ先

岡山県環境衛生協会事務局
〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6
Tel. 086-226-7307
URL. <http://www.pref.okayama.jp/page/351042.html>

第8回 “もったいない”と思う気持ちのはじめの一歩 入場無料

おかやま・もったいない 晴れの国フォーラム

開催日時 2013/10/26(土)
開催時間 10:00~17:00

開催場所 岡山コンベンションセンター (ママカリフォーラム)
1F イベントホール
岡山県中津地区元町1丁目1番1号
※岡山県中津地区元町1丁目1番1号より徒歩約3分 ※公共交通機関をご利用ください。

スペシャルゲストトークショー
私が実践する “もったいない” エコライフ!!
楽しい時間の作り方
～私たちにできるエコライフ～
時間 13:30～ ゲスト 早見 優さん

それいけ!アンパンマンショー
「アンパンマンとカレーヒーロー」
10/26
●1回目/10:50～
●2回目/15:25～
会場 岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議 イベントホールステージ

エコクイズラリー
会場内を周遊してクイズとアンケートに答えてくれた方に
素敵な商品プレゼント!
【先着450名様限定】
※10/26(土)18:30～19:00
※岡山県中津地区元町1丁目1番1号
※岡山県中津地区元町1丁目1番1号

ウルトラマンとエコを学ぼう!
1回目 12:45～
2回目 18:10～
※10/26(土)18:30～19:00
※岡山県中津地区元町1丁目1番1号
※岡山県中津地区元町1丁目1番1号

その他体験イベントなども盛りだくさん!!

主催 岡山県 共催 岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議、地球温暖化防止プロジェクト推進会議、(公財)岡山県環境保全事業団
協賛 岡山県教育委員会、環境省中国四国地方環境事務所、岡山県環境衛生協会、岡山県消費者生活技術研究協議会、(一社)岡山県婦人協会、岡山県農工連携推進委員会、岡山県商工連合会、岡山県中小企業団体連合会、NHK岡山放送局、RSK岡山放送、OHK岡山放送、RNC岡山放送、KSB瀬戸内放送、TSCテレビせとうち、山陽新聞社

平成25年度 定例総会を開催

岡山県環境衛生協会として活動を開始し、最初の定例総会を五月二十一日に開催しました。

平成二十四年度事業実績・決算、平成二十五年度事業計画・予算、役員を選任について審議し、承認されました。

また、(社)岡山県環境衛生協会の決算総会をあわせて開催し、平成二十四年度事業実績・決算、平成二十五年度予算、清算結了処理について審議し、承認されました。

来賓として、築島明環境省中国四国地方環境事務所長、役田昌幸同所廃棄物・リサイクル対策課長、田野宏岡山県環境文化部長、山本篤子岡山県愛育委員連合会副会長、杉本睦子岡山県栄養改善協議会会長を迎え、盛大に開催されました。

また、議事に先立ち、環境衛生改善活動に多大の功績があった団体、個人に対し、表彰状及び記念品の贈呈を行いました。

岡山県知事表彰

◆環境衛生改善事業功労・団体

- 西菅野町内会 (岡山市)
- 上阿知西町内会 (岡山市)
- 倉敷市環境衛生協議会玉島地区協議会柏島支部 (倉敷市)
- 赤崎町内会連合会 (倉敷市)
- 倉敷市環境衛生協議会玉島地区協議会富田支部 (倉敷市)

◆環境衛生改善事業功労・個人

- 黒住 實 (岡山市) 花房 明夫 (岡山市) 楠戸 英俊 (倉敷市)
- 高林 勝信 (倉敷市) 梶田 恒夫 (倉敷市) 田中 仁志 (真庭市)
- 坂本 道治 (津山市)

◆清掃事業功労

- 國柴 俊毅 (赤磐市) 丹治 昌昭 (赤磐市) 水田 忠 (総社市)
- 別府 洋吾 (総社市) 江見 明生 (倉敷市) 三村 恒夫 (倉敷市)
- 佐伯 菊吉 (倉敷市) 宗田 範雄 (倉敷市) 牧 生夫 (真庭市)
- 皆木 幹夫 (美作市)

岡山県環境文化部長表彰

◆環境衛生改善事業功労・団体

- 中の里町内会 (岡山市)
- 下高田町内会 (岡山市)
- 熟年クラブ (岡山市)
- 倉敷市環境衛生協議会玉島地区協議会沙美支部 (倉敷市)

◆環境衛生改善事業功労・個人

- 長原富喜夫 (岡山市) 藤井 公雄 (岡山市) 多田 美輝 (岡山市)
- 西上 忠志 (岡山市) 本田 敏子 (岡山市) 大木 晴太 (香備町)
- 小野 勉 (倉敷市) 武政 三郎 (倉敷市) 生田 雅彦 (倉敷市)
- 山木 誠一 (井原市) 藤原 猛 (井原市) 三宅 敏明 (倉敷市)
- 原田 貞男 (倉敷市) 景 茂樹 (真庭市) 福島 貢 (真庭市)
- 永見千夜子 (美作市) 江見 喜徳 (美作市)

◆清掃事業功労

- 八田 高志 (岡山市) 久安 幸生 (岡山市) 土井 孝 (岡山市)
- 松原 利治 (岡山市) 羽村 幹治 (岡山市) 武林 利和 (倉敷市)
- 野々垣善明 (倉敷市) 庄司 信之 (倉敷市) 兼信 隆政 (倉敷市)
- 小野 昌幸 (笠岡市) 中務 英二 (浅口市) 川田 和市 (総社市)
- 川田 哲也 (美咲町) 佐藤 啓造 (美作市) 道広 有治 (美作市)
- 丸山 義之 (美作市)

岡山県環境衛生協会会長表彰 (支部名)

◆環境衛生改善優良地区

- 岡山市立野谷小学校児童会 (岡山市)
- 高松中学校生徒会 (岡山市)
- 鹿田町二〇二〇会 (岡山市)
- 友田環境衛生改善組合 (倉敷市)
- 下木見環境衛生改善組合 (倉敷市)
- 野呂環境衛生組合 (高梁)

◆環境衛生改善地区育成功労

- 小橋 教秀 (岡山) 中村美佐雄 (岡山市) 樋口 正信 (岡山市)
- 中山 良一 (岡山市) 甲 潤一 (岡山市) 内田 治雄 (岡山市)
- 池畑 一男 (岡山市) 川村 武 (岡山市) 川平 章 (東備)
- 松原 暉文 (東備) 平川 満 (東備) 中藤七五夫 (倉敷市)
- 家守美智子 (倉敷市) 田中 公雄 (倉敷市) 白神 完治 (倉敷市)
- 小野 勉 (倉敷市) 松原 操 (倉敷市) 中田 暘子 (新見)
- 景 茂樹 (真庭) 智和 正 (津山)

◆清掃業務従事功労

- 平井 昇 (東備) 竹内 元美 (東備) 山本 政豊 (倉敷市)
- 西尾 弘志 (倉敷市) 黒瀬 満治 (倉敷市) 田中 義信 (倉敷市)
- 平松 吉孝 (倉敷市) 松浦 伸文 (井笠) 谷名 宏司 (勝英)
- 大江 崇仁 (勝英)

受賞された皆様、誠におめでとうございます。ますますのご活躍を期待しております。



◆マイバッグ持参運動の推進◆

早島町環境衛生協議会

本年度、早島町環境衛生協議会では、JR早島駅前でマイバッグ持参運動の啓発活動を行いました。

通勤・通学中の町民の皆様には、少しばかりのお時間をいただいで、啓発用のチラシとティッシュを配り、マイバッグ持参運動へのご協力をお願いしました。多くの方に興味を持っていただけたようで、中には「我が家では以前からマイバッグを使っていますよ。」とのうれしいお言葉も。町民の皆様意識の高さを感じさせられました。

その一方で、早島町で排出される可燃ごみは年々増加してきています。もちろん、その原因はレジ袋の消費によるものだけではありませんが、買い物の際のレジ袋使用を減らす



ことで、少しでも可燃ごみ減量・CO2排出削減の助けになればとの思いで啓発活動を行っています。

これからも、町民の皆様さらなるご理解とご協力をいただけるよう、様々な場で呼びかけを行っていきたく考えています。

編集後記

広報・研修委員 延原 健

社会・環境汚染を取り巻く原因は多くあります。今回私達がテーマとして取り上げたマイバッグ持参運動も、その原因対策の一例に過ぎませんが、一人ひとりが少しずつでもできることから共通意識を持って取り組む事が、将来に限りある資源・食糧・水・環境を守っていく上で課せられた共通の課題であります。こうした「地域のより良い環境づくりは地域自ら」という循環型社会の構築こそが全国に広がりつつある社会運動であり、近年自然エネルギーを活用した地球環境「エコ」対策でもあります。こうした岡山県の各地域の活動状況を写真で紹介し、今年二回発行する機関誌「環境のひろば」二〇三号から、より読みやすいものとするため、文字サイズを大きくしました。また、各支部だよりも前期・後期号のいずれかの掲載となります。私達が毎日、あたり前のように生活している環境の中で、無理のないライフスタイルへの構築こそが、廃棄物発生抑制・再使用・再資源化の取り組みではないでしょうか。

終わりにになりましたが、今回の機関誌が皆様に幅広く活用され、参考になれば幸いです。

ふるさとの
未来を創造する
総合環境リーダー

公益財団法人
岡山県環境保全事業団

〒701-0212 岡山市南区内尾 665-1
TEL (086) 298-2122 (代)
FAX (086) 298-2496

厚生労働大臣登録食品検査機関
厚生労働大臣登録簡易水道検査機関
岡山県知事指定浄化槽検査機関

公益財団法人
岡山県健康づくり財団

〒700-0952 岡山市北区平田 408-1
TEL (086)246-6254番(代)
FAX (086)246-6258番
北部支所 〒707-0004 美作市入田 291-2
TEL (0868)75-3151番
FAX (0868)75-3153番

社団法人 岡山県浄化槽団体協議会

会長	八田 富夫
副会長	武村 良俊
常務理事	木村 井俊
顧問	平井 武志
	八田 武志

〒703-8282 岡山市中区平井 1097
電話 086-276-8585
FAX 086-276-9081